

総務委員会 会議録

日 時 令和 8 年 7 月 1 5 日（水曜日） 午前 1 0 時 0 1 分～午前 1 0 時 5 0 分

場 所 白杵庁舎 2 階 第 1 委員会室

出席委員の氏名

委 員 保毛津林太郎	~~委 員 川辺 隆~~	委 員 匹田 久美子
委 員 内藤 康弘	委 員 匹田 郁	委 員 伊藤 淳

欠席委員の氏名

川辺 隆

説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

出席した事務局職員の職氏名

書記 小嶋 佳希

傍聴者

（ な し ）

会議に付した事件及び審査結果

- ・総務委員会の政策テーマの決定について
- ・今年度の活動スケジュールについて
- ・令和 8 年度行政視察について

午前 1 0 時 0 1 分 開議

○委員長（匹田久美子）

協議事項の 1. 総務委員会の政策テーマの決定についてです。前回各委員から政策テーマに関する意見をお聞きしましたので、その内容を踏まえて政策テーマ案を作成しました。

まず事務局の方から政策テーマ案について説明をお願いします。

○書記（小嶋佳希）

（ 資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田久美子）

政策テーマ案について、何かご意見がございますでしょうか。

（ 意見なし ）

○委員長（匹田久美子）

それでは、今期における総務委員会のテーマは、「地域におけるデジタル化推進と公共交通の一元化による地域コミュニティの活性化」ということに決定してもよろしいでしょうか。

（ 「はい」の声 ）

○委員長（匹田久美子）

次に協議事項の2、今年度の政策研究活動のスケジュールについてです。効率的かつ効果的な活動を行うために、今年度の活動スケジュールを決めたいと思います。

たたき台としてスケジュール案を作成しましたので、案について事務局から説明をお願いします。

○書記（小嶋佳希）

（ 資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田久美子）

ただいま事務局より説明がありましたが、今後のスケジュールについて何かご意見がありますでしょうか。

○委員（意見）

・スケジュール案については、このとおりで良いと思います。今年中に十分、何が課題で何を聞きたいのかっていうのを絞り込んでいく、勉強をしていくということが大事だと思っています。外に出ていったときに何を聞きたいのか、何を調べたいのかっていうところは、我々が明確になってないと要望合戦みたいな意見交換会が増えてしまいますので、十分勉強をする時間を持つことが大事だと思います。

・昨年も私同じテーマで視察に行かせていただきました。デジタル地域通貨は深谷市で、公共交通は埼玉県飯能市でしたが、どちらも上手くいっていました。ところが、地域通貨では、白杵市の人口が3万人弱、深谷市が10万人以上ということで、その辺の差があったんですけど、視察に行った委員の意見としては、白杵にはちょっと合わないのではないかなという意見が多かったような気がします。しかしながら白杵市は本年度からデジタル地域通貨の準備段階に入るということです。このスケジュールの中で、各担当課と十分な協議に時間を費やしたほうがいいのかと思いますので、スケジュールどおりで勉強会を重点的にやるという方向でいったほうが良いと思います。

・勉強会は1回したぐらいでは多分頭に入ってこないと思うので、この辺は特に複数回行って、ある程度理解した上で、行政視察に行くのがいいのかなと思いますので、勉強会を厚めにしたほうが良いと思います。

・資料のスケジュール案のステップ3で視察先質問事項集約とあるが、その前に1度勉強会をすべきだと思います。白杵の現状をまず知っておかないと相手に事前質問を行うにあたり、

情報が足りないと思います。昨年度視察した委員は、成功してるとかしてないとか、肌で感じているのでわかると思いますが、行っていない委員との中で、ちょっと認識の違いがあると思います。

○書記（小嶋佳希）

担当課の勉強会を１０月に入れているのは、実際担当課に地域通貨の市の方針の進捗状況を確認しに行ったところ、昨年度は秘書・総合政策課の未来プロジェクト室が担当で、今年度からDX戦略課に担当が替わり、もう１回市の地域通貨の方針、手数料をどうするかなどの条件を見直している時期で、その方針が決まるのが、９月か１０月初めぐらいということだったので、ある程度方針が確定した後に、この勉強会自体を１０月の初旬視察前ぎりぎりですけど行ったらどうかと考え、予定させてもらいました。市の方針が確定していなくても、地域通貨のルールとかその制度のことを事前に聞きたいということであれば、第１回として制度の勉強会、視察直前に本市の方針が固まるのであれば、市の方針を踏まえた第２回目の勉強会を執行部に依頼するということはできるのかなと思っています。

○委員（意見）

・公共交通についても、６月の法改正により制度が少し変わっているので、その内容も踏まえて勉強会を開催してほしいです。

【協議結果】

・９月議会前、８月中に地域通貨制度について（DX戦略課所管）と、公共交通の現状について（秘書・総合政策課所管）の２項目について、担当課の都合を確認して勉強会を開催する。その後事前質問票の集約を行う。

○委員長（匹田久美子）

次に協議事項３．令和８年度の行政視察についてです。行政視察については、例年１０月中に実施をしています。そのため視察先を決定したうえで事前に相手先の予約の確保を早めに行う必要があります。

政策テーマに関連する視察項目としては、地域通貨事業と公共交通が挙げられると思います。視察先に求める条件として、地域通貨事業では、臼杵市と同規模の人口、現在担当課が検討している加盟店舗からの手数料徴収やデジタルが苦手な高齢者への対応を行っている自治体、公共交通では、一元化というご意見を踏まえ、官民の複数の交通手段を統合した交通網を形成している自治体が考えられます。そのことを踏まえて視察を希望する自治体など何かご意見があればお願いします。

（意見なし）

○委員長（匹田久美子）

それでは視察先の案について、事務局案がありますので説明をお願いします。

○書記（小嶋佳希）

一応基本的な条件としてはなるべく臼杵市の人口に近いところを選びました。

まず地域通貨の取組についてですが、長野県の岡谷市というところが岡谷P A Yという地域通貨を活用してるんですけど、これが人口規模でいくと44,377人なので、臼杵市よりも若干多い自治体ではありますが、内容重視というところもありますので、そういう目線で調べたところ、特徴としては加盟店から手数料を徴収するシステムを導入しています。全国的には加盟店の手数料を無料にしている自治体が多いですが、臼杵市の方針が昨年度までの情報では、手数料を徴収することも検討しているということを聞いておりますので、その方向性と合ったところの実態を探る必要があるのかなということで考えてみました。手数料については、ポイント還元キャンペーンなど利用促進の財源として活用している体制を作っているということで、持続可能な制度の点から非常に興味あるところかなというふうに思っております。

また令和2年度から岡谷市は地域通貨に取り組んでいるんですけど、過去5年間で、利用総額3億7,000万円に成長しているというふうな報告もされております。岡谷市商工会議所が主体となって運営しております。併せて岡谷市は高齢者対応として、スマホだけではなくてカード式も取り入れておりますので、臼杵市が今心配している高齢者への対応方法についても、学ぶことができるものと思っています。

それから公共交通の一元化についてということで、これも同じ長野県の茅野市というところがあるんですけど、人口は約5万4,000人なんで、ちょっと多いですが、面積は臼杵市とほぼ一緒のところになります。ここの公共交通施策の特徴としては、スクールバスを一般住民に開放して通勤・通学バスというふうに呼んでおりまして、令和4年から、それまでのスクールバスを廃止して、一般住民も利用可にして、小中学校高校だけではなくて、病院とか、高齢者施設もルートに組み込んで、実際運行してるというふうなところになります。

また、路線バスのオンデマンド転換を2020年に実現をして、A I オンデマンド交通「のらぎあ」というものを導入しております。定時定路線ではなくて、いわゆる決まったルートではなくて、時刻表もなく、利用者が専用アプリまたは電話で予約すると、A I がリアルタイムで最適なルートと、配車を決定する乗り合いサービスを作っております。

もう1つ、病院の送迎の公共交通への統合ということで、この地域は諏訪中央病院という大きな病院があって、そこをA I 交通の拠点のバス停として位置付けてやってるということでありますので、今、公共交通の統合として考えられる病院の送迎であったりとかスクールバスの活用とか、さらにはその先のA I を活用した例えばデジタル化を活用した公共交通、いうところの先進地として、こちらが得るものが多いのではないかなというふうに思っております。

○委員長（匹田久美子）

視察先案どうでしょうか。

（ 「良い」との声あり ）

【協議結果】

- ・視察先は、長野県岡谷市（地域通貨の取組について）、長野県茅野市（地域交通の再編について）に決定
- ・視察候補日は、１０月１３日の週及び２６日の週で調整する。

○委員長（匹田久美子）

以上で総務委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前１０時５０分 閉会

臼杵市議会委員会条例第３０条第１項の規定により、ここに記録を作成する。

令和８年７月１５日

臼杵市議会

総務委員会委員長 匹田 久美子